

平成30年12月

関係各位

福島大学環境放射能研究所長
塚田祥文
(公印省略)

特任教員の公募について

平素より、福島大学環境放射能研究所の研究活動につきまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび本研究所では、下記のとおり特任教員の公募を行うことになりました。

つきましては、関係者へご周知くださるとともに、適任者をご推薦くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 募集概要

福島大学環境放射能研究所は、国内外の実績ある大学や研究機関と共同運営を行い、広く世界に開かれた環境放射能動態に係る先端研究拠点の形成を目指して、平成25年7月1日に設立されました。

当研究所は、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射能の環境中における動態と長期にわたる影響を科学的に解明するとともに、その知見に基づき学術的側面から福島復興を支援することを目的として研究活動に取り組んでいます。さらに、当研究所は、福島にある研究拠点として、滞在を希望する研究者を国内外から広く受け入れ、その研究を支援するとともに共同で先進的な研究活動を推進しています。

今回公募する特任教員は、研究機関等において世界レベルの実績を持ち、研究活動を統括できること、自らの先進的研究を推進するとともに、研究所の諸活動に対する役割と責任を担っていただきます。

また、平成31年度に本学共生システム理工学研究科(修士課程)に環境放射能学専攻の設置を予定しているため、教育にも情熱をもって取り組める方を希望します。

環境放射能研究所の活動の詳細については、環境放射能研究所ホームページ
(<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp>)でご確認いただくか、お問い合わせください。

2. 職名・分野・人員

(1) 特任教授又は特任准教授

(2) 放射能地球科学部門 放射能海洋循環学

原発事故、原子力施設等から放出された人工放射能性核種および天然放射性核種の陸域から海洋、及び海洋における移行研究は、環境影響あるいは食物連鎖を経ての人間環境への影響を知る上で極めて重要な研究分野である。海洋環境中の放射線(能)影響については海外の研究者の間で関心が高く、福島への注目が続いている。

これらを背景に世界レベルでリーダーシップを発揮する研究と地域社会への貢献は全学的にも必要と考えられる。また、大学院で部局の教育に携わるのみならず、全学的な学類への教育でも活躍が見込まれる。

(3) 1名

3. 応募資格

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 福島市あるいは近郊に居住できる方
- (3) 研究機関等において十分な研究実績があること
- (4) 大学院(予定)において、海洋放射能動態学特論、オムニバス科目(環境放射能学・、放射能モデリング実習、環境放射能学演習・特別演習、核種分析学) 修士論文他の授業科目を担当できること

4. 採用予定日

平成31年4月1日

5. 応募締切日

平成31年1月31日(木)(当日必着)

6. 提出書類

- (1) 履歴書(様式1) 1通
- (2) 研究業績目録(原著論文, 著書, 国際会議, 特許, 受賞歴など, 参考となるもの。
うち, 主要論文5編に 印を明記すること。) 1部
- (3) 著書及び論文等(目録で主要論文とした5編。コピー可。) 各1部
- (4) 学会・公的委員会等の活動状況 1部
- (5) 外部資金取得状況 1部
- (6) 研究業績の要約(形式自由 1600ワード程度) 1部
- (7) 原発事故後の環境放射能動態に関連する活動概要(形式自由 日本語1,000字または英語800ワード程度) 1部
- (8) 採用後の研究計画(様式2) 1部

提出書類を印刷したものとすべての書類の電子データを USB メモリあるいは CDROM に記録して提出してください。データはできるだけワードまたはエクセルとし、ファイル名は、ご自身の氏名____(ファイルの中身を示す単語)としてください。
提出書類は返却しません。

7. 選考方法

提出書類に基づいて審査を行い、必要に応じて面接(国外に居住している場合は web 等による面接も可)を行ったうえで、選考します。面接に要する費用は応募者の負担とします。

8. 書類提出先

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学環境放射能研究所事務室
(郵送の場合は書留とし、封筒の表に「研究者応募書類在中」と朱書してください)

9. 問い合わせ先

環境放射能研究所事務室
電話: 024-504-2848
E-mail: ier@adb.fukushima-u.ac.jp
<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp>